

環境経営レポート

事業年度2022年度

(対象期間:2022年10月～2023年9月)



 西部電工株式会社

発行:2023年11月30日

《SEIBUエコアクション21を更に活性化させよう》

西部電工株式会社 環境経営方針

【基本理念】

西部電工株式会社は、電気工事を通じて地球にやさしい社会づくりに貢献するため、定期的に経営に対する課題とチャンスを確認し、明確化した事項は、可能な範囲で、環境経営方針並びに環境経営目標に反映し、従業員全員で環境保全活動の取組みを行います。

【行動指針】

1. 西部電工株式会社における環境活動として、環境経営システムを構築し、次の事項の継続的改善を推進します。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
 - ・ 電力使用量の削減（節電の推進）
 - ・ 化石燃料使用量の削減（エコドライブの推進）
 - ② 廃棄物排出量の削減
 - ・ 一般廃棄物の削減（ペーパーレス化、両面印刷の推進）
 - ・ 産業廃棄物の削減（分別の徹底とリサイクル、再資源化の推進）
 - ③ 水使用量の削減（節水の推進）
 - ④ 環境に配慮した設計と施工の推進
2. 環境保全に関わる法令・規則・条例等を遵守します。
3. 地域社会における環境保全活動に対して積極的に参画し、社会貢献活動を推進します。
4. 環境経営方針は文書化し、従業員及び協力会社関係者の全てに周知徹底します。

制定日：2010年 6月15日
改定日：2022年 1月17日

 西部電工株式会社

代表取締役 小山 恵生

1. 組織の概要

(1) 【名称及び代表者名】

西部電工株式会社
代表取締役 小山 恵生

(2) 【所在地】

- ・本 社 兵庫県姫路市広畑区鶴町2丁目31番地
- ・日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所 兵庫県姫路市広畑区富士町1番地
広畑地区構内営業所
- ・倉庫兼作業場 兵庫県姫路市大津区勘兵衛町2丁目84番地

(3) 【環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先】

責任者	専務取締役	小山 修平	TEL : 079-239-3456
担当者	総務部長	伊藤 仁志	TEL : 079-239-3456

(4) 【事業内容】

電気設備・消防設備の工事
許可番号 兵庫県知事（特-31）第459058号（有効期間：H31.4.9 ～ R6.4.8）

(5) 【事業の規模】

資本金 45百万円
売上高 13億円 （2022年度実績）

	本 社	日本製鉄構内営業所	倉庫兼作業場	合計
従業員	18名	28名	0名	46名
延床面積	875㎡	259㎡	366㎡	1,500㎡

(6) 【事業年度】

10月～翌年9月

2. 認証・登録の対象範囲及び活動

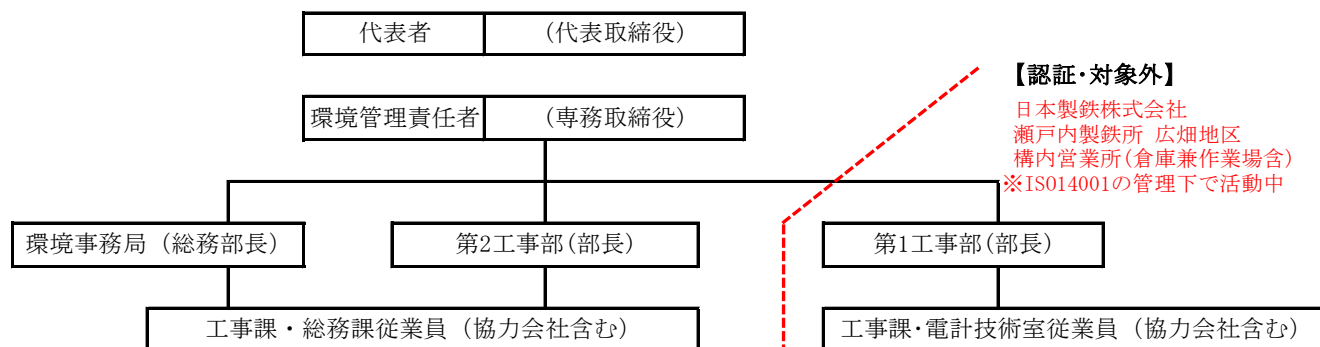
(1) 【対象事業所】

西部電工株式会社 本社
※日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所広畑地区構内営業所は対象外
※倉庫兼作業場も同営業所の管理下であり対象外
（共にISO14001の管理下で活動中の為）

(2) 【認証・登録の対象活動範囲】

電気設備・消防設備の工事（本社及び第2工事部の活動が対象）

(3) 【組織図】



(4) 【役割・責任・権限】

	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表者 (代表取締役)	・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営システムの実施に必要な経営資源（人・もの・資金・情報等）を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認 ・定期的な経営における課題とチャンスの明確化の実施
環境管理責任者 (専務取締役)	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局 (総務部長)	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む） ・環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
部 門 長 (第2工事部長) (総務部長)	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び運用管理 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書の作成、テスト・訓練の実施及び記録の作成 ・自部門における問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員 (協力会社含む)	・環境経営方針に対する理解と環境への取組についての重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 主な環境負荷の実績

項 目	単 位	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	28,879	28,329	31,483
(電力使用量)	kWh	28,063	30,020	30,229
(ガソリン使用量)	L	7,987	7,884	8,094
(軽油使用量)	L	546	186	1,190
一般廃棄物排出量	kg	308	298	284
産業廃棄物排出量	kg	9,004	6,316	18,581
水使用量	m ³	225	226	196

4. 環境経営目標及びその実績

項目		2019年度 (基準年度)	2022年度				2023年度	2024年度
			(目標)	(実績)	(達成度)	評価	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の二酸化炭素排出量削減	kWh	30,608	29,078	30,229			28,770	28,465
	kg-CO ₂	9,733	9,247	9,613	96%	△	9,149	9,052
	基準年度比		△5%	△1%			△6%	△7%
化石燃料の二酸化炭素排出量削減	(ガソリン:L)	8,792	8,520	8,094			8,485	8,451
	(軽油:L)	692	593	1,190	97%	△	538	483
	kg-CO ₂	22,201	21,314	21,870			21,091	20,869
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	31,934	30,561	31,483	97%	△	30,240	29,921
	基準年度比		△4%	△1%			△5%	△6%
自動車の燃費向上	km/L	11.13	11.69	10.58	91%	×	11.80	11.91
	基準年度比		+5%	△5%			+6%	+7%
一般廃棄物の削減	kg	308	299	284	105%	○	296	293
	基準年度比		△3%	△8%			△4%	△5%
産業廃棄物の削減	kg	14,117	13,411	18,581	72%	×	13,270	13,129
	基準年度比		△5%	+32%			△6%	△7%
産業廃棄物の再資源化率向上	%	74.3	76.5	78.3	102%	○	77.3	78.0
	基準年度比		+3%	+5%			+4%	+5%
水使用量の削減	m ³	216	210	196	107%	○	207	205
	基準年度比		△3%	△9%			△4%	△5%
環境に配慮した設計施工の推進	件	8	10	13	130%	○	10	10
	基準年度比							
地域社会貢献活動	件	3	4	4	100%	○	4	4
	基準年度比							

※ 2020年度より基準年度を2016年度から2019年度に変更。

【達成度欄について】

(削減目標) 達成度＝目標÷実績×100% (増加目標) 達成度＝実績÷目標×100%

【評価欄について】

○：達成（100%以上） △：やや未達成（95%～100%未満） ×：未達成（95%未満）

『電力』は「2019年度関西電力の調整後排出係数」0.318kg-CO₂/kWh を使用。

『化石燃料』は年数を経たディーゼル車（主にトラック）をガソリン車に買換えている事もあり、ガソリン・軽油それぞれのCO₂排出係数を参考に各年の目標使用量を設定したもの。
産業廃棄物の再資源化率＝(再資源化量14,549kg)/(再資源化量14,549kg＋最終処分量4,032kg)
化学物質の使用はありません。

5. 環境経営活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容

【本社】

◎：よく出来た ○：まずまず出来た △：あまり出来なかった ×：全く出来なかった

取組項目／達成手段	達成状況	評価（結果と今後の方針）
二酸化炭素排出量総量の削減 （以下の通り）	△	記録的な猛暑等により電力と化石燃料合算後の排出量は6期ぶりに目標未達となる。
電力の二酸化炭素排出量削減		節電意識は定着しており無駄な電力使用はないと考える。今年度も計画通りに推移してしたが7月以降の猛暑により使用量が増加した結果、目標比96%と目標未達となるもの。次年度以降も常に節電意識を持って活動継続の方針。
・節電運動の継続	○	
不在時の照明等電源オフ	○	
・エアコンの温度管理の徹底	△	
化石燃料の二酸化炭素排出量削減		エコドライブの徹底や乗合せの励行を継続するも7月以降の猛暑による燃費の低下等により二酸化炭素排出量は7期ぶりに目標を未達（目標比97%）となり、燃費についても目標を下回る結果となる（目標比91%）。次年度以降も引き続き環境に配慮した活動を継続する方針。
・急な加減速の少ない運転	○	
・アイドリングストップ	△	
・タイヤの空気圧チェック	○	
・現場への乗合せ励行	◎	
一般廃棄物の削減		メールの利用推進や普通紙の回収システムは定着しており、リサイクルが徹底されている。一方、ペーパータオルの導入等により一般廃棄物の量が若干増加するも目標達成。次年度も引続き目標達成出来る様に削減活動継続の方針。
・ペーパーレス化	○	
・メールの利用推進	○	
・両面印刷の徹底	○	
産業廃棄物の削減及び再資源化率向上		今期は大型の改修・解体工事が多く排出量については年間目標未達（目標比72%）となる。再資源化率は連続して目標達成出来ており、次年度以降についても引き続き再資源化率の向上を主体に活動継続の方針。
・分別による再生利用の徹底	○	
・再資源化率の向上	○	
水使用量の削減		節水意識の定着により無駄な使用は無いと考える。大量の水を使用する芝生駐車場についても朝・夕の効率的な散水等により今期は目標達成となる。次年度以降も引続き目標達成出来る様に節水活動を継続する方針。
・こまめに蛇口を閉める	○	
・定期的な漏水チェック	○	
・芝生化駐車場への効率的な散水	○	
環境に配慮した設計・施工の推進		日頃から見積り依頼時等に適切な提案を心掛けた結果、目標達成となるもの。次年度以降も環境に配慮した適切な提案を心掛ける事により目標達成出来る様に活動を継続する方針。
・見積依頼時等に環境性能の向上に資する省エネ機器等の使用を提案	○	
地域社会貢献活動		定期的に実施される公園等の清掃活動に加え、新型コロナの5類移行に伴う地域イベント再開への参加により目標とする件数は達成。次年度以降も引き続き地域社会活動には積極的に参加の方針。
・地域イベントや公園の美化活動等への積極的な参加	○	

6. 環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 法的義務を受ける主な環境関連法規制は、次のとおりです。

適用される法規制等	遵守すべき要求事項	評価
廃棄物処理法	・廃棄物収集・運搬事業者及び処理業者との委託契約 ・掲示板の設置 ・マニフェスト伝票の5年間保管 ・廃棄物の事業場外保管を知事に届出 ・建設廃棄物は、元請業者が責任を持って処理 ・廃棄物の処理状況の確認 ・産廃処理業者から、委託者に処理が困難との通知を受けた場合、必要な処置を講じ、知事に報告する ・水銀使用製品廃棄物の適正処理（平成30年10月規制強化）	遵守
高圧ガス保安法	・高圧ガス容器の封印又は自主検査刻印等の確認 ・バルブが付属品検査を受け、合格している事の確認 ・高圧ガス容器の転倒防止処置	遵守
消防法	・消防署長宛消防用設備等点検結果報告書の提出 ・事故発生時における消防署等への通報義務	遵守
自動車排出NO _x ・PM法	・事業活動に伴う自動車排出窒素酸化物等の排出抑制の為に必要な措置を講ずるように努める	遵守
フロン排出抑制法 R2. 4. 1 改正フロン排出規制法施行	・廃棄する際の第1種フロン類回収業者への引渡し整備及び整備記録の保管 ・修理する際のフロン類回収業者による回収と再充填作業及び作業記録の保管 ・業務用エアコンの3か月毎に実施する簡易点検及び点検記録の保管	遵守
自動車リサイクル法	・資金管理法人への再資源化等預託金の預託義務 ・適正な事業者への使用済み自動車の引渡し義務	遵守
家電リサイクル法	・リサイクル及びリユースを確実に行う適正な事業者への処理委託	遵守
P C B 廃棄物特別措置法	・保管及び処置状況の届出 ※平成28年8月5日処分済（以降の保管なし）	

※環境法規制等の遵守状況に関する定期評価の結果、問題はありませんでした。

関係当局よりの違反等の指摘等は過去3年間ありません。

また、訴訟等についても該当事項はありません。

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

エコアクション21の活動を開始して13年が経過し、活動に関わる従業員全員の節電や節水に対する意識や営業車両の現場への乗合せ励行など、環境に配慮した考え方や行動が定着していると感じます。今年度はこの活動の柱である二酸化炭素排出量の削減に関して「電力」・「化石燃料」の使用量について6月頃(9カ月経過)迄はほぼ目標通りの数値にて推移しておりましたが、その後の記録的な猛暑の影響による熱中症対策等に伴い、計画的な節電や燃費向上を考えた車両の運転などが思う様に出来なかった為、残念ながら6年ぶりに目標未達という結果となりました。一方、一般廃棄物の削減・産業廃棄物の再資源化・水使用量等については目標達成しております。今年度末(令和5年9月)に本社屋上に設置していた太陽光発電システムを全面更新して蓄電池を導入しました。年々、環境問題が深刻化する中で効率の良い利用を推進し、「省エネ」「リサイクル」「もったいない」を意識した環境に優しい職場づくり、地域に根ざした環境経営活動を推進します。

- ・『経営環境方針』・『経営環境目標』
 - ・『経営環境計画』・『実施体制』
- 上記についての変更はありません。

2023年 11月 30日

西部電工株式会社
代表取締役 小山 恵生

8. 環境活動の紹介

(1) 西部電工株式会社の環境対策の取組

- ・事務室LED照明灯の採用
- ・廊下、トイレ照明の自動感知点滅採用
- ・駐車場に開粒度アスファルト(雨水地下浸透)の採用
- ・オール電化、省エネエアコン(無人感知電源オフ機能付)
- ・太陽光発電システムの更新、蓄電池の導入(2023年9月)
- ・来客用駐車場の芝生化(2019年3月)
- ・本社トイレにセンサー式水栓を導入(2021年3月)
- ・地域社会貢献活動(地元公園での緑化、清掃活動)
- ・第二工事部室内に間仕切りを設置(2022年8月)
- ・本社及び従業員用駐車場夜間照明のLED化(2023年)



(2) エコアクション21の活動紹介



廊下・トイレ自動点滅



本社太陽光発電、蓄電池



来客用駐車場の芝生化



開粒度アスファルトの駐車場



本社・従業員用駐車場夜間照明のLED化



事務室のLED照明



エコアクションステッカー



産業廃棄物の分別場



公園の清掃活動



第二工事部室内に間仕切りを設置